

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成20年度 第2回
開催日時	平成20年7月5日（土曜日） 午前9時から11時
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：池永委員、一原委員、植村委員、加藤委員、齋藤委員、清水委員、田中委員 欠席：篠委員 事務局：飯島課長、寺嶋係長、岩田主査
議題	1 第1回西東京市男女平等推進センター企画運営委員会会議録について 2 今後の事業（案）について 3 20年度予算について
会議資料の名称	1 第1回西東京市男女平等推進センター企画運営委員会会議録 2 事業予定及び20年度予算 3 委員名簿
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名： 発言内容 《開会》</p> <p>第2回の会議を始める。開会にあたり、委員名簿が作成されているが、内容を確認願いたい。</p> <p>各委員：内容確認。 委員長：指摘箇所について、訂正をお願いする。 事務局：訂正のうえ、再送付したい。</p> <p><u>1 第1回西東京市男女平等推進センター企画運営委員会会議録について</u> 委員長：議題に入る。前回の会議録（案）について何かないか。特にないようなので承認とする。</p> <p><u>2 今後の事業（案）について</u> <u>3 20年度予算について</u> 委員長：議論を始めるにあたり、当委員会で何を検討していくか、確認しておく必要があると思う。テーマとしては、大きく三つの柱があるように思う。一つは講座、二つめは情報誌、三つめとしてまつり関係があるが、不明な点やわからない点は、確認しておく必要がある。質問はあるか。</p>	

委員：資料の「男女平等推進センター事業予算等」に講座関係とあるが、講座の進め方について、どのようにすればいいか。

事務局：予算上は4月からの事業開始を予定していた。当委員会の発足が6月となったので、8月から年末までの具体的な事業構想を練っていただく必要がある。週間事業は、11月末を予定している。なお、週間事業として、既に先日の開館記念式典から数日間「なるほどジェンダー展」を実施した。提示した資料にある事業内容について、当委員会で具体的な議論をしていただきたい。

委員長：色々な講座が考えられるが、年間計画のなかでどのように進めるか。

事務局：資料「（仮称）女性センター開設準備委員会で検討された事業等」の講座関係で示したとおり提案を受けているが、具体的な内容については、本委員会で企画していただくことになる。

委員：情報誌の業者委託先とパリテまつりの実行委員会の委託先について確認したい。

事務局：情報誌の業者委託については、特に縛りはない。実行委員会は、市民公募を想定している。

委員長：わからないことが多いが、他に質問や意見はないか。

委員：全体的なイメージがつかめない。事務局案を示して欲しい。

委員：市民に何を伝えるか。1年間の活動内容を伝える使命があると思うが。

委員長：男女平等参画に関する市民意識アンケートの中で、市民の関心度があまり高くないことがわかった。以前、エガールの編集に携わるにあたり、学習会を行った経験があるが、本委員会でも学習会を希望した場合、実施する予算はあるか。

事務局：本委員会の開催回数を年12回と予定していたが、少し、委員会の発足が遅れたため、その費用を勉強会に充てることなども考えられる。全体の経費の中で、検討させてもらいたい。

本市の男女平等参画推進計画は、今年度が5年計画の最終年度にあたり、第2次計画の策定時期を向かえている。現在、男女平等参画推進委員会で次期計画の審議を行っている。計画の内容を学習していただくことも、必要かもしれない。

委員長：男女平等参画推進委員会の傍聴は可能か。

委員：市報掲載されていた。

事務局：男女平等参画委員会は条例上の委員会であり、原則として傍聴は可能であ

る。男女平等参画委員会委員は、毎月第2水曜日午後7時から開催している。

委員長：時間がある方は、委員会を傍聴してもらいたい。勉強会について、意見はあるか。

委員：勉強会を実施してもらいたい。

委員：女性相談には、子ども連れで来るケースも多い。その意味で、このルピナスは画期的な類を見ない施設だと思う。施設を有効に活用するための検討が必要である。

委員：男女平等参画推進委員との懇談、交流を図り、生の意見を聞きたい。

委員長：男女問題に詳しい人、できれば、男女平等参画委員会の委員に講師をお願いできないか。

委員：事務局から、男女平等参画推進委員会委員などに勉強会の要請をお願いしたい。

事務局：実施時期などを議論いただければ、人選を含め検討したい。

委員：情報誌の作成は業者委託となるが、業者の選定方法は。

事務局：市の契約は原則入札であるが、編集から印刷までをお願いする業務になるので、こちらから仕様書を提示し、これに基づくプロポーザル方式で選定することを考えている。業務内容から、男女平等に関して精通したシンクタンク系の業者に委託することが考えられる。

委員長：次回の委員会で8月以降の会議日程を決めたい。勉強会はいつにするか。

各委員：日程及びテーマについて、話し合われる。

委員長：7月26日（土曜）午前9時から11時まで勉強会、その後、今後の日程について話し合いたい。

事務局：今後の事業スケジュールについて、概ねの確認をしておきたい。週間講座については11月末、情報誌の発行については11月と3月の2回、まつりは2月実施、柱となる事業については、概ねこのような日程を想定して、その合間に基礎講座開催とセンター通信の発行という形で考えていきたい。次回会議にスケジュール案を提示したい。

《閉会》